

第2部 概数調査

第1章 オールナイト利用者概数の推計(第1次調査)

第1節 調査と集計の方法

1. 調査の方法

全国の24時間営業のインターネットカフェ・漫画喫茶等全店舗(3,246店舗・表1①)の店長・店員等に対して、「当該店舗における平日(月曜日～木曜日)1日あたりの平均的なオールナイト利用者概数」及び「そのうち週の半分以上利用する常連者概数」を電話によって調査したところ、1,173店舗(表1②)から有効回答を得た(回答率36.1%)。

2. 集計の方法

各店舗の利用者の特性は、店舗の立地条件の影響を受ける可能性があることから、調査対象全店舗を、その立地条件により「大規模駅周辺(=1日の乗降客が30万人以上の駅から1km(徒歩10分)以内に立地する店舗)」、「その他駅周辺(=1日の乗降客が30万人未満の駅から1km(徒歩10分)以内に立地する店舗)」又は「郊外(=駅から1km(徒歩10分)を超える場所に立地する店舗)」に区分し、それぞれの立地区分ごとに、「オールナイト利用者概数」及び「うち週の半分以上利用する常連者概数」の1店舗あたりの回答平均値(表1③⑤)を求めた。

これに基づき、立地区分ごとに、利用者概数・常連者概数の全店舗計の推計値(表1⑤⑧)を求め、さらにこれらを合計して全国の推計値を求めた。

表1 オールナイト利用者概数の推計値

		大規模駅 周辺	その他駅 周辺	郊外	全国
① 調査対象店舗数		346店	1,781店	1,119店	3,246店
② 有効回答店舗数		126店	674店	373店	1,173店
利用者 概数	③ 1店舗あたり回答平均値	26.8人	18.5人	16.7人	18.9人
	④ 95%信頼区間	22.8人～ 30.9人	16.9人～ 20.1人	14.9人～ 18.4人	17.7人～ 20.1人
	⑤ 全調査対象店舗計の 推計値 (=③×①)	9,273人	32,949人	18,687人	60,909人
常連者 概数	⑥ 1店舗あたり回答平均値	8.7人	6.5人	6.1人	6.6人
	⑦ 95%信頼区間	6.4人～ 11.0人	5.7人～ 7.2人	5.3人～ 6.9人	6.1人～ 7.2人
	⑧ 全調査対象店舗計の 推計値 (=⑥×①)	3,010人	11,577人	6,826人	21,413人

第2節 集計の結果

集計結果(表1⑤⑧の下二桁を四捨五入した値)は表2のとおりであり、平日1日のオールナイト利用者概数は、全国で約60,900人、そのうち週の半分以上利用する常連者概数は21,400人と推計される。

表2 オールナイト利用者概数・常連者概数の推計値 (人)

	①オールナイト 利用者概数	②常連者概数
全国	約60,900	約21,400
北海道・東北	約 4,500	約 1,600
関東甲信越	約23,000	約 8,100
東海・北陸	約13,800	約 4,900
近畿	約 9,000	約 3,200
中国・四国・九州・沖縄	約10,500	約 3,700
東京23区内	約 8,500	約 3,000
横浜市内	約 1,500	約 500
名古屋市内	約 3,100	約 1,100
大阪市内	約 2,700	約 1,000

第2章 オールナイト利用者の属性(第2次調査)

第1節 調査と集計の方法

1. 調査の方法

第1次調査の対象店舗から立地区別・ブロック別に偏りのないよう抽出した146店舗に対して、専門調査会社の調査員が訪問して協力を依頼し、店舗が平日(月曜日～木曜日)にオールナイト利用者に対して店内でアンケート用紙を配布・回収したところ、87店舗から1,664人の調査サンプルが回収された^(注2)。

2. 集計の方法

(1) 対象者の類型化

調査結果の記述にあたり、Q3(オールナイト利用の頻度)、Q4(オールナイト利用の理由)、Q5(就業状況)、Q6(就業形態)への回答状況に応じて、対象者を表3のように類型化又は簡略表示をする。

なお、例えば、「住居喪失者」であってかつ「非正規労働者」である者を直接指し示す場合は、「住居喪失非正規労働者」、「短期労働者」である者の場合は「住居喪失短期労働者」などのように表すものとする。

表3 「概数調査」の回答状況による住居喪失不安定就労者等の類型化

対象者の類型の名称				概数調査における回答項目	
常連の利用者				Q3(オールナイト 利用頻度)	①週5日以上 又は ②週3～4日程度
住居喪失者				Q4(オールナイト 利用理由)	⑦現在「住居」がなく、寝泊まりするために利用
帰宅困難者					⑥「住居」に帰りたくないため(当分の間帰らない)
非正規 労働者	短期 労働者	短期派遣 労働者	日雇派遣労働者 日雇以外の 短期派遣労働者	Q6(就業形態)	②派遣労働者(派遣先が毎日又は1ヶ月未満で異なる)
		短期直用 労働者	日雇直用労働者 日雇以外の 短期直用労働者		
	長期 労働者	長期派遣労働者			③派遣労働者(派遣先が1ヶ月以上固定)
		長期直用労働者			⑤派遣以外のアルバイト・パート・契約社員等 (1ヶ月以上の契約)
正社員				Q5(就業状況)	①正社員等
自営業・フリーランス					⑥自営業・フリーランス
失業者					④ふだん仕事をしていない(仕事を探している)
無業者					⑤ふだん仕事をしていない(仕事を探していない)
学生					③学生(学生アルバイトを含む)

(注2) 第1次調査で得られた「オールナイト利用者概数」と、第2次調査の「有効回答数」(=オールナイト利用者)は、立地区別の構成比がほぼ一致している。

なお、表中の「**直用労働者**」とは労働者派遣によらず事業主に直接雇用される労働者をいう。「日雇直用労働者」は建設関係職種(労働者派遣事業が禁止)を中心にみられる。

(2) データの補正

第2次調査のアンケートは、全体としては、平成19年6月下旬～7月中旬に実施されたが、各店舗ごとにみると、1日～数日間程度にわたって実施された店舗が大半である。複数日にわたって実施された場合、2日目以降は、前日までに既に回答済みのためにアンケート対象とならない利用者が発生する可能性があるが、このような者は、利用頻度の高い者に多いと考えられ、得られた調査結果は、オールナイトの利用頻度の高い者の割合が相対的に小さいものとなっている可能性がある。

このため、第2次調査のQ3(利用頻度)において「①週5日以上」又は「②週に3～4日程度」利用すると回答した者(=常連的利用者)の全体に占める構成比が、第1次調査で得られた、「オールナイト利用者のうち週の半分以上利用する常連者概数」の「オールナイト利用者概数」に占める比率^(注3)に合致するよう^(注4)、第2次調査によって得られた各調査サンプルに対して、立地区分ごとの補正用ウェイト^(注5)を乗じて、データを補正した。

第2節以下で取り扱う数字は、すべてこれらの補正後のデータである。

(注3) 第1次調査における「オールナイト利用者のうち週の半分以上利用する常連者概数」の「オールナイト利用者概数」に占める比率(大規模駅前=31.8%、その他の駅前=37.9%、郊外=40.5%)は、どちらかの概数の回答が欠けている店舗のデータを除き、両方の概数に回答した店舗(648店舗)のデータに基づいて算出した。

(注4) 週3～4日程度以上のオールナイト利用者である「常連的利用者」と、あるネットカフェ等店舗を週半分程度以上オールナイトで利用する「常連者」とは、厳密には同一概念ではないが、データ補正に当たってはこれを同等と見なして計算した。

(注5) 回答済みのためにアンケート対象とならない割合は、利用頻度が高い者ほど大きくなると考えられることから、データの補正に当たっては、「①週5日以上」と回答した者は週6日(5～7日の中間値)の確率で来店し、「②週に3～4日程度」と回答した者は週3.5日(3～4日の中間値)の確率で来店するものとの仮定に基づき、後者よりも前者に係る割合が高くなるよう調整した。

第2節 集計の結果

第2次調査の集計結果は以下のとおりである。

回収調査サンプル数は1,664人(ただしQ6の回答対象者は1,177人)である。

表中の「NA」は無回答を意味する。

各項目のパーセンテージは四捨五入しているため、単純に合計しても100.0%にならない場合がある。

1. 性別

Q1 性別

①男	77.9(%)
②女	22.1
	100.0

オールナイト利用者は、男性が77.9%を占めている。

2. 年齢

Q2 年齢

① ~19歳	9.5(%)
② 20~24歳	30.0
③ 25~29歳	21.2
④ 30~34歳	15.6
⑤ 35~39歳	8.5
⑥ 40~49歳	9.4
⑦ 50~59歳	4.1
⑧ 60歳~	1.6
NA	0.1
	100.0

オールナイト利用者は、20歳代(②③)が約半数(51.2%)を占めている。

特に20歳代前半層(②)が3割(30.0%)を占めている。

3. オールナイト利用の頻度

Q3 ネットカフェ・マンガ喫茶などをオールナイトで利用する頻度はどのくらいですか？

① 週5日以上	17.8(%)
② 週に3~4日程度	20.1
③ 週に1~2日程度	15.8
④ 月に1~2回程度	12.1
⑤ たまに	26.0
⑥ 今回はじめて	6.4
NA	2.0
	100.0

オールナイトの利用頻度をみると、「たまに」利用する者が全体の約1/4(26.0%)であり、「週3~4日程度」利用する者が20.1%、「週5日以上」利用する者が17.8%となっている。

4. オールナイト利用の理由

Q4 ネットカフェ・マンガ喫茶などをオールナイトで利用する理由として、最も近いものの一つを選んでください。（注：なお以下の選択肢における「住居」とは、ふだん帰る自宅やアパート、会社の寮・住込み先などをいい、遠い実家は含みません）

① パソコン・ゲーム・漫画等をオールナイトで利用するため	52.8 (%)
② 遊び等で夜遅くなり「住居」に帰れない(帰るのがおっくうな)ため	13.3
③ 仕事等で夜遅くなり(又は朝が早く)「住居」に帰れない (帰るのがおっくうな)ため	14.5
④ 現在旅行(又は出張)中であり、宿がわりに利用	2.5
⑤ 「住居」に帰りたくないため(ちかぢか帰る予定)	2.1
⑥ 「住居」に帰りたくないため(当分の間帰らない)	3.9
⑦ 現在「住居」がなく、寝泊まりするために利用	7.8
NA	3.2
	100.0

オールナイト利用の理由をみると、「パソコン・ゲーム・漫画等をオールナイトで利用するため」とした者が約半数(52.8%)を占めた。また、「遊びまたは仕事等で住居に帰れない(帰るのがおっくうな)ため等」とした者(②③)が約3割(27.8%)となっている。

一方、「現在住居がなく、寝泊まりするために利用」とした者(=「住居喪失者」)は、7.8%となっている。

5. オールナイト利用者の就業状況

Q5 ふだん仕事をしていらっしゃいますか？次の中から一つを選んでください。

① 生計をたてるための仕事をしている	60.3 (%)
② 家族の収入を補助するための仕事をしている	8.5
③ 学生(学生アルバイトを含む)	18.1
④ ふだん仕事をしていない(仕事を探している)	7.3
⑤ ふだん仕事をしていない(仕事を探していない)	5.2
NA	0.6
	100.0

オールナイト利用者の就業状況をみると、「仕事をしている者」(①②)が約7割(68.8%)を占め、「学生」が約2割(18.1%)となっている。

6. オールナイト利用者の就業形態

Q6 (Q5で①②と答えた方のみ)現在の仕事の形態は次のどれですか？

① 正社員等	56.0(%)
② 派遣労働者(派遣先が毎日又は1ヶ月未満で異なる)	6.1
③ 派遣労働者(派遣先が1ヶ月以上固定)	5.9
④ 派遣以外のアルバイト・パート・契約社員等(日雇いや1ヶ月未満の契約)	5.1
⑤ 派遣以外のアルバイト・パート・契約社員等(1ヶ月以上の契約)	15.1
⑥ 自営業・フリーランス	9.2
NA	2.5
	100.0

仕事をしているオールナイト利用者についてその就業形態をみると、「正社員等」が過半数(56.0%)を占めた。「非正規労働者」(②~⑥)は約1/3(32.2%)であり、そのうち「短期派遣労働者」(②)は6.1%となっている。